

# インターネット VS FM波 比較表

		高度利用向け	一般向け
受信方式		インターネット	FM波
緊急地震速報	発報基準となる場所	お客様指定住所 ピンポイント	数県単位の広域情報
	発報基準となる震度閾値	震度1～震度7 自由設定可能	地震警報発表時 (最大予測震度5弱・5強以上)
	予測震度	アナウンス可能	×
	予測猶予時間(秒単位)	アナウンス可能	×
月額利用料		必要 (ラビットは不要)	不要
通信状態保守		回線切断時にはメールと電話で連絡	×
本体修理保守		本体修理及び代替機 無償	有償
放送設備など外部機器の制御		可能	可能

## 放送設備などの外部機器を制御

FM波及びインターネットのどちらでも、放送設備、エレベーター、自動ドア、回転灯などの外部機器を制御することができます。

## 発報基準となる場所

FM波では県内・複数県内の全ての場所をひとつの場所とみなし、県内・複数県の全ての場所に対して同じ地震情報を配信します。インターネットでは、お客様の指定住所に対しての地震情報を配信 (**お客様住所の緯度・経度及び地盤増幅率を登録**)

## 発報基準となる震度閾値

FM波の放送カバー範囲では、お客様の場所により震度2以上の揺れが予想されますが、お客様が知らせてほしい震度を選択することはできません。(震度情報そのものを配信していません、地震の到来だけをお知らせするものです)

インターネットでは、**お客様が知らせてほしい震度を設定**することができます。

## 予測震度

FM波では、お客様の場所に対しての予測震度はお知らせできません。

インターネットでは、お客様の設置場所に対しての**具体的な予測震度をお知らせ**します。(震度1 ～ 震度7で設定が可能)

## 猶予時間

FM波では、地震が到達するまでの猶予時間はお知らせできません。

インターネットでは、地震が到達するまでの**具体的な猶予時間を、秒単位でお知らせ**します。

## 保守料

FM波では、保守料は不要。

インターネットでは、一般的に**保守料が必要**となります。 **スーパーラビットは保守料不要**です。

## 通信状態保守

FM波では、受信端末とラジオ放送局の通信状態を監視することはできません。

インターネットでは、緊急地震速報の配信サーバーとお客様の機器との**接続状態を監視**することができるので、回線切断時には速やかに通信状態の復旧が可能となります。(メールとお電話でお知らせします)

## 本体修理保守

FM波では、機器が故障した場合の本体修理代金及び代替機などは有償となります。

インターネットでは、ご利用の間は**本体修理代金が無償となり、代替機の貸出なども無償**となっています。

総発売元



緊急地震速報のリーディングカンパニー

株式会社 J コーポレーション

総合窓口 TEL 0742-53-7833

〒631-0011 奈良県奈良市押熊町 557-7 4F